

(事例36) 54歳男性、製造業、血糖コントロール不良のため交替勤務禁止

類型	症候	疾患
1、2、3	1. 高血糖	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 54歳、男性、糖尿病で通院中</p> <p>2) 業種、作業内容 交替勤務（製造試作ライン）</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病 (FBS 291, HbA1c 8.9)</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 交代勤務禁止（日勤帯のみ）</p>		
<p>4. 事例の詳細（背景、経緯、特に考慮した事情など）</p> <p>妻の死後、一人暮らしとなり、交代勤務のため、食生活が乱れるようになった。 夜勤中には小腹がすくので、間食も多かった。 糖尿病は通院中だったが、コントロール不良で血糖高値が続くため、交代勤務禁止とした。 夜勤手当がなくなるので、本人が抵抗するかと思ったが、本人は元々夜勤をやめたがっており、 今回の制限を設けることについては、むしろ喜んでいた。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的（複数回答可）</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>② 企業リスクが予見されたため（交通事故、公衆災害の発生など）</p> <p>③ 健康管理を促進するため（受診、治療を強く進めるため）</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>本人の承諾を得ること 上長の承諾を得ること 人事の承諾を得ること</p>		